

## 平成25年度ダイオキシン類濃度監視結果について

### 1 調査の目的

高知県において、継続的なダイオキシン類濃度調査により、地域の汚染の状況を把握することによって、発生源の状況や高濃度地域の把握、排出抑制対策の効果の把握等を行い、ダイオキシン類対策の基礎資料とすることを目的としています。

### 2 調査地点

- (1) 公共用水域水質 18 地点
- (2) 公共用水域底質 18 地点
- (3) 地下水質 2 地点

### 3 調査結果の概要

#### (1) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.034～0.34 pg-TEQ/L(平均値0.10 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

#### (2) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.099～38 pg-TEQ/g(平均値5.8 pg-TEQ/g)であり、すべての調査地点で環境基準値(150 pg-TEQ/g)を下回っていました。

#### (3) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、全ての地点で0.029 pg-TEQ/L(平均値0.029 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

表1 平成25年度結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			単位	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
水質	河川	16	0.034	0.34	0.11	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下
	海域	2	0.041	0.071	0.056		
	計	18	0.034	0.34	0.10		
底質	河川	16	0.099	38	5.3	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下
	海域	2	5.4	14	9.7		
	計	18	0.099	38	5.8		
地下水質	—	2	0.029	0.029	0.029	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下

pg: 1兆分の1グラム